

行政の窓

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査 (令和2年6月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m³以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:102)
2. 調査実施時期 令和2年6月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
4. 企業判断指数の算出方法
[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)
5. 調査結果(回答工場数:95社 / 回答率:93.1%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12
R1.9	12	-4	-11	-	-	-
R1.12	-	-2	-12	-23	-	-
R2.3	-	-	16	15	0	-
R2.6	-	-	-	31	32	13

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12
当年	177,410	152,805	193,380	-	-	-
(前年)	160,285	146,052	178,606	183,683	177,410	152,805
対前年比	110%	114%	108%	-	-	-

(概況)
トド原木在庫は前年を上回り、不足感はほぼ解消されている。夏以降も引き続き前年を上回る見通し。

(回答企業の主なコメント)
在庫は十分/土曜受入停止中/不足感無し/丸太価格暴落とコロナ終息後の品不足への逆転を懸念/製品低調で少量入荷に留めた/コロナでストップした輸出用原木の入荷有/合板用動き少量/チップ需要落ちている

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12
R1.9	-30	-39	-40	-	-	-
R1.12	-	-45	-53	-43	-	-
R2.3	-	-	-74	-75	-60	-
R2.6	-	-	-	-78	-89	-78

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12
当年	212,330	221,166	181,768	-	-	-
(前年)	205,404	224,597	197,058	205,340	212,330	221,166
対前年比	103%	98%	92%	-	-	-

(概況)
トド原木消費量は、冬から春にかけて減少しており、トド製品荷動きは夏以降も前年を大きく下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)
新型コロナ終息後の受注回復は遅れると予想/中国の水回り製品の入荷で建築遅れはほぼ解消/首都圏コロナ第2波の経済への影響未知数/本州での営業・打合せ出来ない/梱包材・ラミナ・魚箱で受注悪化

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12
R1.9	-16	-16	-19	-	-	-
R1.12	-	-33	-33	-43	-	-
R2.3	-	-	-11	-30	-29	-
R2.6	-	-	-	17	26	15

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12
当年	237,959	218,917	254,678	-	-	-
(前年)	179,587	166,827	224,394	234,584	237,959	218,917
対前年比	133%	131%	113%	-	-	-

(概況)
カラ原木在庫は前年を上回っており、今後も製品受注が少ない影響で前年を上回る見通し。

(回答企業の主なコメント)
原木は順調に入荷/製品減産のため在庫多め/森林整備は造林にシフトする予定/積増しになる程の入荷は無い/仕入量を生産量に比例させて調整/買材して在庫を増やす体力が無い/山元で伐採量を調整中

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12
R1.9	-34	-40	-45	-	-	-
R1.12	-	-63	-67	-52	-	-
R2.3	-	-	-78	-78	-65	-
R2.6	-	-	-	-85	-92	-79

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12
当年	276,138	259,279	227,922	-	-	-
(前年)	287,480	288,663	262,626	282,191	276,138	259,279
対前年比	96%	90%	87%	-	-	-

(概況)
産業資材の不振によりカラマツの荷動きは前年を下回っており、新型コロナウイルスの影響で今後も大きく下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)
新型コロナ影響で梱包・ラミナ・パレット昨年同期比受注30~50%減/コロナ影響で需要乏しく秋位迄は流通悪いと予想/営業努力でラミナやパレットの受注先を模索中/世界的不景気で見通し立たない/コロナ終息次第

(北海道水産林務部林務局 林業木材課 林業金融係 電話:011-206-6578)